発行部数 6.500部 No380

「よみっこ」とは？

ちょうちいきみっちゃくがた
超地域密着型（ハイパーローカル）の地域情報紙です。新聞配達の流通を使い週6日発行・お届けをしています。※現在は読売新聞のみに折込まれています。

地域情報紙
よみっこ

〈発　行〉
よみっこ事務局
八王子市椚田町586-3
（電話）042-667-0444
yomikko99@gmail.com
YC読売センター
（週6日発行）

2015年（平成27年）
10月10日
土曜日

人馬一体、悠然とした時の流れ
初開催八王子流鏑馬

10月4日（日）、八王子市子供キャンプ場において、八王子流鏑馬まつりが開かれました。

勇壮な出で立ちの射手が疾走する馬上から見事に的を射抜くと、大きな歓声と拍手が会場に湧き上がりました。

射手が見事に的を射抜くと拍手と大歓声が沸き起こりました

流鏑馬とは

流鏑馬は、馬に乗って走りながら鏑矢を射放って、3枚の板的を射当てる騎射です。起源は6世紀にさかのぼり、第29代欽明天皇の時代に、国の内外が乱れたのでこれを平定するため、神前において天下泰平、五穀豊穣を祈られ馬上より3つの的を射られたのが当初「矢馳馬」と呼ばれ、やがて「うまゆみ」、後に流鏑馬になったとも伝わります。

八王子では初めて

主催者の八王子流鏑馬武道推進委員会代表の石本氏は『流鏑馬は日本の各地で行われていますが「古い歴史を持ち、御陵もある八王子でやろう」という事で「武道振興會・倭武駒馬會」の協力を得て初の開催となりました』との事でした。

鹿島流居合斬法術を披露する大前氏

武道振興會・倭式騎馬會会長 森顯氏

妙技に大歓声

流鏑馬は神事としても行われるものなので、実際に的を射るまでに定められた様々な儀式があります。まず、八幡神社による祭りの安全と五穀豊穣、泰平祈願が執り行われました。次に、和駒を観客に見せる「駒見せ」、神聖な馬場を祈る「天地人三才之儀」、6人の巫女役による扇と鈴を用いた「扇舞の儀」、勇ましい「馬上武芸」、全力で疾走する「素走」と続き、いよいよ流鏑馬本番です。女性（撫子）5名と男性（武蔵武者）6名の射手が激しい気性の和駒に乗って3つの的を撃ちます。的と的の間隔は55メートル。馬はかなりのスピードで走るので、不安定な馬上で次々と射るには高い技術を必要とします。そのスピード感と射抜かれた時の迫力は見応え充分でした。来場者の一人は『初めて見ましたが、まさに人馬一体ですね。和駒の素朴さもいいですね』と感想を述べられていました。

石森市長も馬に乗り登場

迫力ある鹿島神傳直心影流の型

流鏑馬に先立って古武道の披露も行われ、鹿島流神傳直心影流の型、無雙直傳英信流の居合、居合斬法術という真剣で藁を切る演技、など迫力満点でした。

昨年の居合抜刀全国大会で優勝した大前氏は『刃筋とスピード、精神の統一など全てが一致しないと切れません。ごまかしはききません』との事。ミリ単位の技と聞き驚きました。

また、武道振興會・倭式騎馬會会長の森顯氏は『武芸や武士道の精神を通して、失われつつある日本の心（相手を尊敬する心など）を継承したい』と述べられていました。

このイベントは来年以降も続けていきたいとの事です。身近で見る事の出来る貴重な機会として、また八王子を代表する行事として定着すればいいですね。